



2020年6月9日

各 位

本社所在地 東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号
 会 社 名 RIZAP グループ株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 瀬 戸 健
 コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス
 問 合 せ 先 執行役員 鎌 谷 賢 之
 電 話 番 号 03-5337-1337
 U R L <https://www.rizapgroup.com/>

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	225,000	3,200	1,800	700	500	0.90
今回修正予想(B)	202,934	△752	△3,221	△5,491	△6,046	△10.87
増減額(B-A)	△22,065	△3,952	△5,021	△6,191	△6,546	
増減率(%)	△9.8	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	210,905	△8,394	△11,401	△21,783	△19,423	△35.55

※前期実績については、以下の理由により、2019年5月15日の2019年3月期決算短信[IFRS]にて公表した値と異なっております。

- ・前期実施した企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行ったため
- ・売却等により非継続事業が増加したため
 (2020年3月期に非継続事業となった会社：株式会社タツミプランニング、株式会社タツミマネジメント、株式会社ばど、株式会社三鈴)

(2) 業績予想修正の理由

当社は、2019年3月期下期より当社グループの持続的成長に向けた構造改革に着手し、今期(2020年3月期)も引き続き、不採算店舗の閉鎖、在庫の圧縮、販管費の抑制、業績の悪化している子会社の事業売却等を進めてまいりました。また同時に、グループ全社でのECへの取組み強化やワンダーコーポレーションでのイベント事業等のLIVE型高収益業態の開発、HAPiNS・ジーンズメイト等でのプライベートブランドの展開強化等、事業拡大施策も積極的に実施してまいりました。さらに、株式会社ばどの公開買付への応募、株式会社三鈴及び株式会社サンケイリビング新聞社の「あんふあん」「ぎゅって」事業の売却等も実施しております。

第3四半期までの9か月間累計については、営業利益は期初計画を上回る進捗となっております。

しかし、第3四半期以降においては、消費増税、大型台風や暖冬等の天候不順の影響により、比較的高額な商品・サービスを取り扱うRIZAPやMRKホールディングス、雑貨・アパレル関連商品を取り扱う

HAPiNS やジーンズメイト等の売上・利益が想定を下回りました。

特に、第4四半期においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響により来客数が大幅に減少いたしました。その中でも、インバウンド需要の比率が高いジーンズメイトを中心とした小売業のグループ各社や、LIVE 型事業を推進していたワンダーコーポレーションなどでの新型コロナウイルス感染拡大に伴う売上減少の影響が大きく、加えて、当社グループ各社が運営する店舗において臨時休業や営業時間の短縮を余儀なくされる等、業績に大きな影響を受けることとなりました。

当社としてもこのような状況に対応するため、前述の構造改革を引き続き推進するとともに、不要不急な費用の削減等を実施してまいりましたが、売上の減少を吸収するには至りませんでした。

また、新型コロナウイルスの感染拡大の収束時期や消費者の購買意欲回復時期が見通せない中で、新型コロナウイルスの影響を踏まえて店舗等の固定資産や在庫等を評価し、それらを含む一過性の損失約59億円の計上を見込んでおり、その結果、第4四半期における営業損失が拡大いたしました。このように下期において業績が想定を下回る形で推移した結果、通期業績予想を修正させていただくこととなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2019年5月15日発表)	—	0.00	—	1.00	1.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(2) 配当予想修正の理由

上記のとおり、今期（2020年3月期）の親会社の所有者に帰属する当期利益について、当初の黒字見込みから赤字となる見込みとなりました。

また、2020年4月7日に発出された新型コロナウイルス感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言、休業要請及び外出自粛要請等に基づき、当社グループでは一部の店舗を除き臨時休業を実施し、その他の店舗の多くについても営業時間の短縮を実施いたしました。その後の緊急事態宣言及び休業要請の解除に伴い、店舗営業の再開、営業時間短縮の解除を順次実施しておりますが、今後についても消費者購買意欲の回復時期も含めた完全な収束時期は未だ見通せない状況です。そのため、非対面事業等新たな収益源創出のための投資資金の確保も行いながら、より保守的な財務運営を実施する必要があると考えております。

これらの理由により、従来年間1円としていた配当予想を無配とさせていただきます。

以 上